2026年３月13日

各　　位

会 社 名　　丸善ＣＨＩホールディングス株式会社
代表者名　　代表取締役社長　　五味　英隆
（コード番号：3159　東証スタンダード市場）
問合せ先　　総務部長　　中村　道成
（TEL　03-5261-8171）

中期経営計画の見直しに関するお知らせ

当社は、2025年１月期から2029 年１月期までの５年間を計画期間としている「中期経営計画」について、経営環境及び当社グループの業況を踏まえた見直しを行いましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

１．変更に至る経緯

当社は、2024年３月に「中期経営計画」を策定し、「①グループ資産の活用促進、②成長領域の創出、③収益構造の転換」を基本方針として、知の生成と流通に持続的に貢献するための成長力及び資本効率の向上を目指してまいりました。

しかしながら、教科書を含む専門書籍販売市場の縮小は、中期経営計画策定時の想定を上回って進行しており、また最低賃金の上昇等を背景とした労務費の増加により、店舗・ネット販売事業及び図書館サポート事業を中心に、収益性への影響が強まっております。

加えて、新規事業の立ち上げにおいては、実現可能性の高い注力事業の収益貢献時期に遅れが生じているほか、成長加速に向けたM&A案件についても、情報収集及び分析対応が十分ではなく、案件推進に遅れが生じております。

これらの状況を総合的に勘案した結果、中期経営計画の数値目標を見直すことといたしました。

２．変更する数値目標

【2029年１月期計画】

	変更前	変更後
売上（億円）	2,000	1,850
営業利益（億円）	85	55
営業利益率（%）	4.2	3.0
ＲＯＥ（%）	7.5以上	5.8以上

（ご参考）

	2025年１月期実績	2026年１月期実績
売上（億円）	1,657	1,850
営業利益（億円）	34	55
営業利益率（%）	2.1	3.0
ＲＯＥ（%）	8.0	6.3

なお、中期経営計画の変更の詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

（注）本資料は、現時点において入手可能な情報に基づき合理的に判断して作成したものでありますが、今後さまざまな要因によって変動する可能性があることをご承知おきください。

以　上

MARUZEN CHI Holdings

丸善CHIホールディングス株式会社（3159）

中期経営計画の見直しについて

（2025年１月期～2029年１月期）

2026年３月13日

目次

1　中期経営計画の進捗

中期経営計画の進捗と今後の見通しについて　4

2　中期経営計画の見直し

中期経営計画の見直し　8

キャッシュアロケーションの見直し　16

業績目標　17

3　Appendix

中期経営計画施策　2026年１月期の取り組み・施策一覧　19

サステナビリティへの取り組み　22

All Rights Reserved, Copyright© Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.

1.中期経営計画の進捗

All Rights Reserved, Copyright© Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.

中期経営計画の進捗と今後の見通しについて　全体

2024年３月に公表した５カ年の中期経営計画の策定時点と比べ、出版・流通事業を取り巻く環境が当初の想定を上回り落ち込んだことから、来期2027年１月期以降の計画達成が困難

※単位:億円　2028年１月期の計画は非開示

All Rights Reserved, Copyright© Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.

中期経営計画の進捗と今後の見通しについて　事業セグメント別（1）

各事業セグメントにおいて、当初想定を上回る落ち込みにより、2029年１月期の目標達成は困難

All Rights Reserved, Copyright© Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.

中期経営計画の進捗と今後の見通しについて　事業セグメント別（2）

各事業セグメントにおいて、当初想定を上回る落ち込みにより、2029年１月期の目標達成は困難

その他

売上高（当初計画）　売上高（実績）　売上高（見直計画）　● 営業利益（当初計画）　営業利益（実績・見直計画）　※単位:億円

All Rights Reserved, Copyright© Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.

２.中期経営計画の見直し

All Rights Reserved, Copyright© Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.

中期経営計画の見直し　事業セグメント別の見直計画

単位:億円

セグメント	2024年１月期 売上高	営業利益	営業利益率	計画１年目 2025年１月期(※1) 売上高	営業利益	営業利益率	同５年目（最終） 2029年１月期見直計画 売上高	営業利益	営業利益率	(24/1-29/1) CAGR 売上	営業利益
文教市場販売	465	32	6.9%	469	32	6.9%	476	32	6.7%	0.4%	±0%
店舗・ネット販売	664	3	0.5%	662	3	0.6%	747	10	1.3%	2.3%	23.1%
図書館サポート	356	30	8.6%	376	29	7.8%	420	31	7.4%	3.3%	0.2%
出版	41	1	2.8%	38	-1	—	40	1	2.5%	-0.6%	±0%
その他	125	1	1.0%	133	4	3.5%	187	15	8.0%	8.4%	63.6%
調整額（※2）	-23	-32		-23	-34		-20	-33			
合計	1,629	36	2.2%	1,657	34	2.1%	1,850	55	3.0%	2.6%	8.7%

※1 2026年１月期は、大阪・関西万博関連事業の影響により他年度との比較が困難なため、比較対象として2025年１月期を記載
※2 調整額はセグメント間取引による消去、および管理部門等の全社費用

All Rights Reserved, Copyright© Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.

中期経営計画の見直し　事業ポートフォリオによる収益構造の転換

残りの計画期間においては、デジタルコンテンツ、公共施設運営受託、子育て関連事業など、収益性が高く成長が見込まれる次世代・成長事業へ積極投資し、営業利益の８割超をこれらの事業で創出することで、収益構造の転換を図る

※ 2026年１月期は、大阪・関西万博関連事業の影響により他年度との比較が困難なため、比較対象として2025年１月期を記載

All Rights Reserved, Copyright© Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.

中期経営計画の見直し　丸善CHIグループ全体（計画未達要因・成果・今後の戦略）

丸善CHIグループ全体として、計画未達要因、およびこれまでの取り組み成果より、見直し後の戦略を示す

丸善CHIグループ全体

2029年１月期見直計画

売上高**1,850億円**　営業利益**55億円**　営業利益率**3.0%**

計画未達要因

- **外部環境の想定を上回る変化への対応**
  - 教科書を含む専門書籍販売市場の縮小
  - 最低賃金上昇を含む労務費の増加が、労働集約度の高い事業セグメント（店舗・ネット販売事業、および図書館サポート）を中心に利益を圧迫
- **新規事業の立ち上げの遅れ**
  - 実現可能性の高い注力事業について、収益貢献時期の遅延
  - 成長を加速させるＭ＆Ａ案件に関する情報収集や分析体制の不足

成果

- **新規事業構築の足掛かり**
  - 新規事業の創出に対する効果・意識醸成
- **課題提起と対応**
  - 積極的な目標達成意識や課題解決意識

今後の戦略

- **イノベーションラボの維持・運営の強化**
  - グループとして、事業横断的な視点で積極的な新規事業の推進
  - 再構築事業の事業構造改革の支援
  - グループシナジーのあるＭ＆Ａの積極的な情報共有と買収支援

All Rights Reserved, Copyright© Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.

中期経営計画の見直し　「文教市場販売」セグメント（計画未達要因・成果・今後の戦略）

「文教市場販売」における計画未達要因、およびこれまでの取り組み成果より、見直し後の戦略を示す

文教市場販売

2029年１月期見直計画

売上高**476億円**　営業利益**32億円**　営業利益率**6.7%**

事業構成

- 成長・次世代
  電子コンテンツプラットフォーム事業ほか
- 基盤・再構築
  書籍販売事業（公共・大学）、内装設備事業（大学）、図書装備・マーク事業ほか

計画未達要因

- **教科書を含む専門書籍市場の収縮**
  - コロナ禍以降、少子化に伴う学生数の減少に加え、教材や情報収集手段の多様化・デジタル化が進んだことで、既存の教科書（書籍）や専門書籍の需要が想定以上に減少し、これらへの対応が遅延

成果

- **公共図書館向け電子図書館サービス、大学向け電子教科書の伸長**
- **タブレット用図書館検索システム「ポケット図書館」の導入拡大**
- **キャンパス充実のニーズを取り込んだ大学向け設備・施工の伸長**

今後の戦略

- **大学向け書籍販売事業の構造改革**
- **電子コンテンツを中心にした研究者・専門家向け情報事業の構築**

All Rights Reserved, Copyright© Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.

中期経営計画の見直し　「店舗・ネット販売」セグメント（計画未達要因・成果・今後の戦略）

「店舗・ネット販売」における計画未達要因、およびこれまでの取り組み成果より、見直し後の戦略を示す

店舗・ネット販売

2029年１月期見直計画

売上高**747億円**　営業利益**10億円**　営業利益率**1.3%**

事業構成

- 成長・次世代
  IPコンテンツ関連事業、ホビーリユース事業（国内ほか海外、EC）
- 基盤・再構築
  国内店舗事業、外商事業ほか

計画未達要因

- **持続性のある収益構造への転換**
  - これまで2026年１月期業績に大きく貢献した2025大阪・関西万博オフィシャルショップの運営に注力。今期より店舗の収益構造転換を本格的に強化

成果

- **企画製造から販売までオリジナル雑貨商品の一貫した事業モデルの構築**
- **人材力を中心に、ロジスティクスから店頭運営まで小売運営能力の充実**
- **IPコンテンツ関連事業の海外展開への着手**

今後の戦略

- **IPコンテンツ、ホビーリユースなど成長分野への注力**
- **それらの海外展開や越境ECなどによる拡大**
- **店舗運営力を活用した、大規模イベント等での販売事業やオペレーション受託事業への取り組み**

All Rights Reserved, Copyright© Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.

中期経営計画の見直し　「図書館サポート」セグメント（計画未達要因・成果・今後の戦略）

「図書館サポート」における計画未達要因、およびこれまでの取り組み成果より、見直し後の戦略を示す

図書館サポート

2029年１月期見直計画

売上高**420億円**　営業利益**31億円**　営業利益率**7.4%**

事業構成

- 成長・次世代
  図書館等運営受託事業
- 基盤・再構築
  大学図書館運営受託事業

計画未達要因

- **人件費の高騰と対応の構造上の遅延**
  - 人件費および人材獲得コストを中心とする運営コストが想定を上回って増加したことに加え、その増加分を委託料に反映する時期にずれが生じ、想定利益を圧迫

成果

- **公共図書館において順調な受託件数の増加**
- **公共・企業で図書館以外の受託案件増**

今後の戦略

- **安定的な受託案件の獲得**
- **一層の人材採用難に対応したAI等による業務省力化**
- **公共の多様なニーズに対応した受託分野の拡大**

All Rights Reserved, Copyright© Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.

中期経営計画の見直し　「出版」セグメント（計画未達要因・成果・今後の戦略）

「出版」における計画未達要因、およびこれまでの取り組み成果より、見直し後の戦略を示す

出版

2029年１月期見直計画

売上高**40億円**　営業利益**1億円**　営業利益率**2.5%**

事業構成

- 成長・次世代
  保有コンテンツの多様な展開と活用に関する事業（デジタル、IP関連ほか）
- 基盤・再構築
  出版事業ほか

計画未達要因

- **専門書・児童書の構造的な市場停滞からの脱却の遅れ**
  - 教科書・専門書籍の販売不振や、幼児の児童書離れなどにより、不振が構造化。
    電子書籍化やIP関連事業・コンテンツ活用事業など、多角化への取り組み遅延

成果

- **専門書の領域拡大による良質なタイトル確保**
- **丸善リサーチサービスのネットワークを活用した刊行企画やセミナーの開催**

今後の戦略

- **専門家向けコンテンツ、教科書等のデジタル事業開発**
- **絵本IPの様々なかたちでの活用推進**

All Rights Reserved, Copyright© Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.

中期経営計画の見直し　「その他」セグメント（計画未達要因・成果・今後の戦略）

「その他」における計画未達要因、およびこれまでの取り組み成果より、見直し後の戦略を示す

その他

2029年１月期見直計画

売上高**187億円**　営業利益**15億円**　営業利益率**8.0%**

事業構成

- 成長・次世代
  丸善リサーチサービス（専門書サブスク）、総合保育サービス事業、内装設備事業（公共・商業）、公共施設運営・管理受託事業ほか

計画未達要因

- **新規事業の立ち上げの遅れ**
  - 既存市場の縮小や、自社を取り巻く市場環境の変化に対し、新たな事業アイデアの創出と事業化に向けた、積極的かつ持続的な組織的支援が不十分

成果

- **丸善リサーチサービスは2027年１月期に単年度黒字化へ**
- **保育事業の想定を超える成長**

今後の戦略

- **丸善リサーチサービスのモデルを活用・発展させた、コンテンツの生成と流通の新たなプラットフォーム構築**
- **IP関連事業、海外展開などターゲットを定めた新規事業開発、M&Aへの注力**

All Rights Reserved, Copyright© Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.

キャッシュアロケーションの見直し

キャッシュアロケーションについても、計画期間内に成果につながるよう、実現可能性の高い案件に対して優先的に投資していく

2027年１月期～2029年１月期の
キャッシュフロー

営業キャッシュフロー
約200億円
（３年間累計）

成長事業創出による営業キャッシュフローの拡大と、グループ全体での資金の効率的な運用

資金使途

次世代・成長事業への投資

新規事業投資
約60億円
（３年間累計）

M&A投資
約70億円
（３年間累計）

既存事業投資＋既存設備更新等
約35億円（３年間累計）

株主への還元
（2029年１月期の配当性向目標30％以上）

All Rights Reserved, Copyright© Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.

業績目標

当初の計画を見直した結果、2029年１月期を目途として、売上高**1,850億円**、営業利益率**3.0%**、ROE**5.8%以上**の達成を目指す

単位:億円	2024年１月期	計画１年目 2025年１月期	同２年目 2026年１月期	**同3年目 2027年１月期 業績予想**	**同5年目（最終） 2029年１月期 見直計画**	24/1～29/1 CAGR
売上高	**1,629.2**	**1,657.8**	**1,850.5**	**1,740**	**1,850**	2.6%
営業利益	**36.1**	**34.9**	**55.9**	**40**	**55**	8.7%
営業利益率	**2.2%**	**2.1%**	**3.0%**	**2.3%**	**3.0%**	
純利益	**21.9**	**39.0**	**33.3**	**24**	**34**	9.2%
純資産	**477.6**	**517.4**	**546.3**	**-**	**620**	5.4%
ROE	**4.8%**	**8.0%**	**6.3%**	**-**	**5.8%以上**	

※PBRについては、中期経営計画の目標に加え、早期に１倍の実現を目指す（2026年１月末 0.6倍）

All Rights Reserved, Copyright© Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.

3 .Appendix

All Rights Reserved, Copyright© Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.

中期経営計画施策　2026年１月期の取り組み・施策一覧（１）

2026年１月期における丸善CHIグループにおける取り組み・施策について（25年２月～25年４月）

	取り組み・施策	中計基本方針
２月以降	• 「2025大阪・関西万博 オフィシャルストア」の（店舗内）展開 （㈱丸善ジュンク堂書店）	①グループ資産活用 ② 成長領域の創出
３月	• 「みどころキューブ®」を活用した地域の課題解決に向けた産学連携プロジェクト-四国水族館における丸善雄松堂㈱、香川大学、大日本印刷㈱の連携による取り組み-	①グループ資産活用 ② 成長領域の創出
３月	• 台湾（台北市）の三井ショッピングパークららぽーと台北南港に台湾2店舗目となる淳久堂書店ららぽーと台北南港店をオープン （㈱丸善ジュンク堂書店）	② 成長領域の創出 ③ 収益構造の転換
３月	• 大日本印刷㈱と日東電工㈱ オープンイノベーションで環境問題の解決につなげる共創を開始。東京都北区のジェイトエルでアップサイクルした製品を展示　（㈱図書館流通センター）	①グループ資産活用
４月	• 「丸善ジュンク堂書店ネットストア」にてネット通販サービスを開始	② 成長領域の創出 ③ 収益構造の転換
４月	• 「2025大阪・関西万博 会場内オフィシャルストア」オープン （㈱丸善ジュンク堂書店）	② 成長領域の創出 ③ 収益構造の転換

All Rights Reserved, Copyright© Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.

中期経営計画施策　2026年１月期の取り組み・施策一覧（２）

2026年１月期における丸善CHIグループにおける取り組み・施策について（25年４月～25年６月）

	取り組み・施策	中計基本方針
４月	• ㈱図書館流通センターと日本出版販売㈱が共同で、図書館内ショップを展開。公共図書館で本や文具雑貨、地域商材を販売する実証実験を開始（㈱図書館流通センター）	②　成長領域の創出
４月	• 英治出版㈱×丸善CHIホールディングス㈱、ブックファンドで名著復刊！『仕事は楽しいかね？』シリーズ2冊の新版を発売 （丸善CHIホールディングス㈱）	①グループ資産活用
５月	• 子どもが読書にハマるオンライン習い事「ヨンデミー」との連携について（㈱丸善ジュンク堂書店）	②　成長領域の創出
５月	• 丸善雄松堂㈱ほかグループ事業会社で　法務省主唱 第75回“社会を明るくする運動”に広報協力　ーまなびの力で「社会を明るく」	①グループ資産活用
６月	• ㈱インプレスと丸善CHIホールディングス㈱が技術書籍読み放題サービスの企画運営を目的とした合弁会社テックリブ㈱を設立　（丸善CHIホールディングス㈱）	①グループ資産活用 ②　成長領域の創出 ③　収益構造の転換
６月	• ㈱みんなの銀行とのパートナー支店「丸善ジュンク堂支店」を開設（㈱丸善ジュンク堂書店）	②　成長領域の創出 ③　収益構造の転換

All Rights Reserved, Copyright© Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.

中期経営計画施策　2026年１月期の取り組み・施策一覧（３）

2026年１月期における丸善CHIグループにおける取り組み・施策について（25年８月～26年１月）

	取り組み・施策	中計基本方針
８月	• 「EXPO 2027（国際園芸博覧会）オフィシャルオンラインストア」がオープン（㈱丸善ジュンク堂書店）	② 成長領域の創出 ③ 収益構造の転換
11月	• 丸善雄松堂　大阪府箕面市の新たな公民連携施設運営の優先交渉権者に選定 ー（仮称）新みのおサンプラザ１号館・公共施設（1階～3階）指定管理予定者として覚書を締結ー	② 成長領域の創出 ③ 収益構造の転換
12月	• 全国47都道府県の代表作が競う、全国図書館員が選ぶ新たな文学賞「本の甲子園」設立（㈱図書館流通センター）	①グループ資産活用
12月	• 理科年表100周年記念講演会の開催（丸善出版㈱）	①グループ資産活用
12月	• “きっかけ”を生むシェア本棚「cuebooks」が2025年12月26日、ジュンク堂書店 大阪本店内にプレオープン（㈱丸善ジュンク堂書店）	② 成長領域の創出
１月	• 没後125周年 初の正伝　「丸善」を創った男 早矢仕有的 資料展～福澤諭吉とともに日本の近代化に尽くした医師～開催（丸善雄松堂㈱、㈱丸善ジュンク堂書店、丸善出版㈱）	①グループ資産活用

All Rights Reserved, Copyright© Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.

サステナビリティへの取り組み（1）

６つのマテリアリティ（重要課題）に関する2026年１月期におけるそれぞれの取り組みについて

マテリアリティ	2026年１月期における主たる取り組み内容
教育・学習機会の促進への対策	• 就学前教育への取り組みとして、「こども向けまなび事業」において、７自治体（小金井市、敦賀市、仙台市ほか）、２拠点（市谷の杜（新宿区）、リフノス（利府町））にて合計28回実施（丸善雄松堂㈱） • 図書館内ショップの展開として、公共図書館で本や文具雑貨、地域商材を販売する実証実験を開始。公共図書館内で本や文具雑貨、地域商材などを販売する図書館内ショップ「TOSHOP（トショップ）」設置。公共図書館に“本を借りる場所”にとどまらない価値を付加することで、地域の人たちが集い、文化を育むコミュニティセンターとしての可能性を広げ、読書人口を増やすことを目指す　実証実験図書館：海南nobinos・日進市立図書館・学びの杜ののいち カレード（㈱図書館流通センター） • チャリティーイベント「ブックサンタ」を通じて、貧困による体験格差を抱える子どもに本を届ける活動に参加（㈱丸善ジュンク堂書店） • 電子書籍の提供先・拡大と電子書籍化数の拡大（丸善出版㈱）
知のインフラ構築とイノベーション推進	• 生涯学習の機会提供として、生涯学習プラットフォームを通じたリカレント教育・生涯学習の機会提供（丸善雄松堂㈱） • 『S×UKILAM（スキラム連携）による多様な資料の教材化ワークショップ』の開催 ※S×UKILAMとは、小中高の教員や教育委員会などの学校関係者（S）、大学・研究機関（U）、公民館など地域の施設（K）、企業（I）、図書館（L）、文書館（A）、博物館・美術館（M）などの関係者が、属性を越えてあらゆる文化資源を子どもたちの学びに資するために協働するコミュニティおよびその一連の取り組みを指すもの（TRC-ADEAC㈱㈱図書館流通センター子会社） • 「図書館サービスをすべての人に届けられる」よう、低コスト低負担の移動図書館「LIBOON」の普及（㈱図書館流通センター） • シェア本棚サービス「cuebooks」を介した、棚主と読者のコミュニケーションの場を提供（㈱丸善ジュンク堂書店）

All Rights Reserved, Copyright© Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.

サステナビリティへの取り組み（2）

６つのマテリアリティ（重要課題）に関する2026年１月期におけるそれぞれの取り組みについて

マテリアリティ	2026年１月期における主たる取り組み内容
知の業界・地域・社会とのパートナーシップ 	• 図書館の未来を考える実験と実証を繰り返す施設「超研まちらいぶらりー」（文京区）を開設し、本と創造のための機器を備え、利用者がひらめきをその場でカタチにする環境を提供（㈱図書館流通センター） • 地域の読書活動推進への取り組みとして、地域の図書館と書店が連携した「おはなし会」や「本のテーマ展示」を実現。（丸善多摩センター店と多摩市立中央図書館、ジュンク堂書店明石店とあかし市民図書館）（㈱丸善ジュンク堂書店）
人類の尊厳と多様性の尊重 	• 家庭環境に様々な変化が生じても、家庭と仕事の両立ができる環境づくりを目指し、事業主行動計画（2016年4月～2026年3月）を策定し、施策の実施。2024年にえるぼし三ツ星を取得（㈱図書館流通センター） • 積極的な女性管理職、女性店長の登用、女性社員の採用（㈱丸善ジュンク堂書店） • ジェンダー関連書籍の刊行（「ジェンダー事典」、「未来世界を哲学する第５巻　ジェンダーとLGBTQの哲学」、「知っておきたいLGBTQの患者診療の手引き」（丸善出版㈱）
安全で活力ある職場の実現 	• 従業員の仕事と子育ての両立支援を進めるため、厚生労働省の「くるみん認定」取得に向けた一般事業主行動計画（2024年2月～2026年1月）を策定し、取り組みを実施（㈱図書館流通センター） • 高齢者や障がい者、ベビーカー利用者、外国人など様々なお客様に対応し、働きやすい職場づくりを進めるため「ユニバーサルマナー検定」受講を推進（㈱丸善ジュンク堂書店）

All Rights Reserved, Copyright© Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.

サステナビリティへの取り組み（3）

６つのマテリアリティ（重要課題）に関する2026年１月期におけるそれぞれの取り組みについて

マテリアリティ	2026年１月期における主たる取り組み内容
地球環境の保全と気候変動への対策	• 頻発する災害などの緊急事態発生に備え、BCPの策定および緊急対策マニュアルの整備（丸善雄松堂㈱） • 物流施設（新座ブックナリー）にて太陽光発電システムの導入（㈱図書館流通センター） • 継続的な店舗照明のLED化推進（㈱丸善ジュンク堂書店）

All Rights Reserved, Copyright© Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.

本資料には、当社および当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれています。
これらの記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
そのため、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があります。
また、本資料の著作権は全て当社に帰属し、著作権法に定める私的利用の範囲を超えて無断で、複写・転載等することを禁じます。

All Rights Reserved, Copyright© Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.